

今後のスポーツ少年団指導者について

つくば市スポーツ少年団

令和元年5月29日

今後のスポーツ少年団指導者について

1. 指導者資格制度変更の経緯

2. スポーツ少年団指導者資格

- (1) 指導者資格制度
- (2) 指導者養成講習会

3. スポーツ少年団登録

- (1) 登録区分の整理
- (2) 単位団スポーツ少年団の登録条件

4. スポーツ少年団指導者に係わる費用

1. 指導者制度変更の経緯

- 2020年からの日本スポーツ協会公認指導者資格の変更に伴うスポーツ少年団資格の変更
- 日本スポーツ少年団指導者協議会からの具申書を踏まえカリキュラムの作成

【要望事項】

- (1) 日本スポーツ少年団が認める有資格指導者の養成にあたっては、スポーツ少年団の「理念」の学習は必須とすること。
- (2) スポーツ少年団指導者全員が有資格指導者となることを目指し、新たにスポーツ少年団の指導者になろうとする者が養成講習会を受講しやすい環境を維持すること。
- (3) スポーツ少年団指導者の資質および社会的地位向上に向けて、可能な限り日本体育協会公認スポーツ指導者制度との一体性を担保し、学び続けることができる環境を整えること。

- **役割**： スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、学校運動部活動等でのコーチングアシスタント（指導補助）。上位資格者と協力して、安全で効果的な活動を提供する。
- **受講対象**： 受講年度の4月1日現在、満18歳以上の者。
- **学習時間数**： 自宅学習が8時間以上、集合講習が7時間以上の計15時間以上。
集合講習7時間以上の内訳は、共通科目が3時間、専門科目が4時間以上とし、資格養成団体が、共通科目および専門科目の集合講習会を実施する。

具 申 書

私たちは、日ごろのスポーツ少年団活動を通して、創設当時から引き継がれている「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通じて青少年のこころを育てる」、そして創設50周年を迎えるにあたり、新たに加えられた「スポーツで人々をつなぐ、地域づくりに貢献する」の3つの理念を実現していくことが、スポーツ少年団の存在意義であり、指導者の責務であると考えています。

本年度からスタートした「日本スポーツ少年団第10次育成5か年計画 アクションプラン 2017-」では、スポーツ少年団が地域社会のニーズに応え続ける組織として充実・発展していくことで、地域住民が生産にわたってスポーツを楽しむことができる「地域スポーツクラブとしての役割を果たしていくこと」を目指し、「スポーツを通して 地域の人々がつながる スポーツ少年団組織の構築」が全体目標とされた。

スポーツ少年団は、子どもたちが日常生活の中で気軽にスポーツに親しむことのできる環境と組織を提供し、その活動の中で、団員同士といった仲間、保護者や指導者といった大人との交流を通じて、コミュニケーション能力や他人に対する思いやりを育むなど、社会が期待する青少年の健全育成に重要な役割を果たしていかなければならない。

スポーツ少年団活動の主役は子どもたちであるが、子どもたちが楽しく、有意義なスポーツ活動を行う環境をつくり、50年余にわたりスポーツ少年団組織の維持・発展をけん引してきた屋台骨は、指導者の存在である。

私たち指導者には、スポーツの様々な価値を子どもたちの保護者や地域の方々と共有し、スポーツという手段を用いて、子どもたちの成長を促し、進歩、礼節、感謝などを育みながら、スポーツを安全に、正しく、楽しく指導し、スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさを伝えることが求められている。

日本スポーツ少年団指導者協議会は、全国19万人余のスポーツ少年団指導者が3つの理念をしっかりと認識し、高い理想と夢を持って活動することで、全国の単位スポーツ少年団が、保護者や地域の期待に応え、子どもたちの健全な成長を促し、地域づくりに貢献できる組織として発展していくことに寄与

する役割を果たしてまいりたい。

よって、日本スポーツ少年団におかれては、日本体育協会公認スポーツ指導者制度の改定に伴う対応においては、単に指導者制度を考えるのではなく、リーダー制度や登録制度の在り方についても十分考慮し、単位スポーツ少年団をはじめ、市町村や都道府県スポーツ少年団組織等の持続的発展に寄与する改定とするため、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 日本スポーツ少年団の認める有資格指導者の養成にあたっては、スポーツ少年団の「理念」の学習は必須とすること。
- 2 スポーツ少年団指導者全員が有資格指導者となることを目指し、新たにスポーツ少年団の指導者になろうとする者が養成講習会を受講しやすい環境を維持すること。
- 3 スポーツ少年団指導者の資質及び社会的地位向上に向けて、可能な限り日本体育協会公認スポーツ指導者制度との一体性を担保し、学び続けることができる環境を整えること。

以上、日本スポーツ少年団指導者協議会規程第3条の規定により具申書を出す。

平成29年12月19日

日本スポーツ少年団指導者協議会

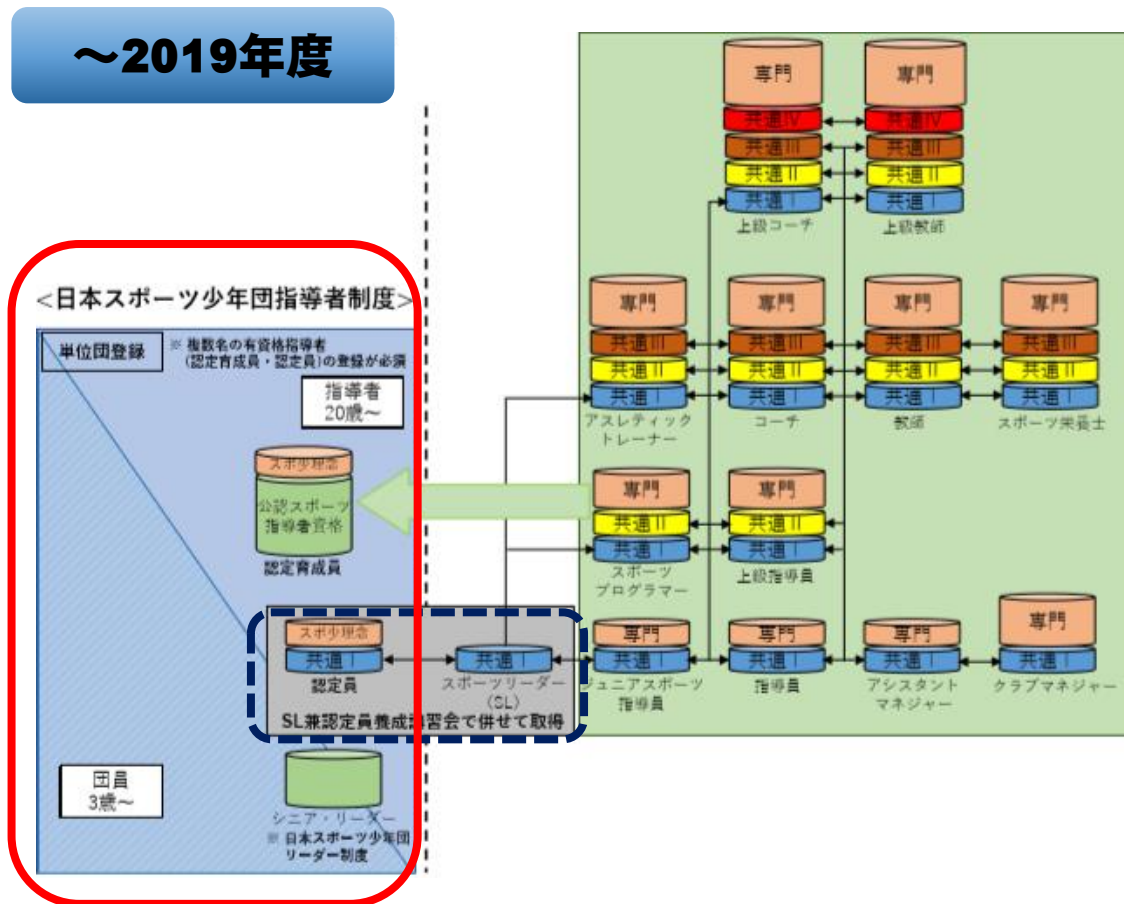
日本スポーツ少年団

本部長 飯本 祐之輔 様

2. スポーツ少年団指導者資格

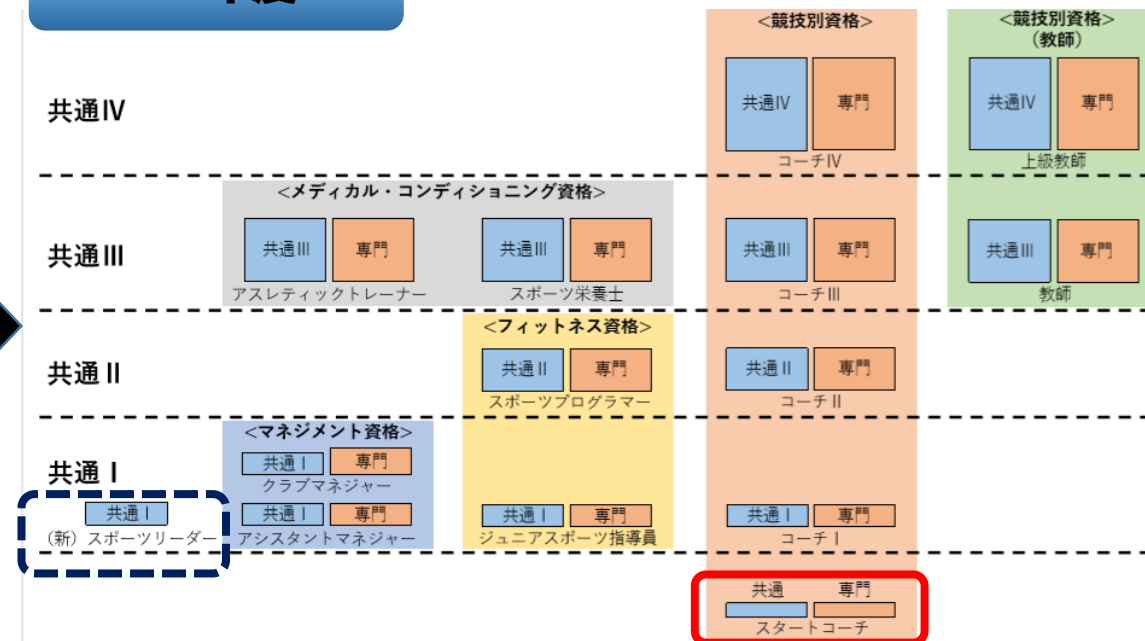
スポーツ少年団認定員・認定育成員 スポーツリーダー

～2019年度



スタートコーチ(日本スポーツ協会公認指導者資格) 新スポーツリーダー(仮称)

2020年度～



(1) 指導者資格制度

【～2019年度】のスポーツ少年団指導者資格

認定員

- ・ **スポーツ少年団指導者資格（20歳から取得可能）**
 - ・ 永年資格
 - ・ **JSP0公認スポーツリーダー保有（永年資格）**
 - ・ シニアリーダーからの移行が可能（20歳以上）
 - ・ 認定員養成講習会受講で資格取得（各市町村スポ少）
 - ・ JSP0公認スポーツ指導者資格保有者は申請により資格取得が可能。（共通科目Ⅰ受講者）

【2020年度～】のスポーツ少年団指導者資格

《2020～2023年度（※2019年度に認定員を取得済）》

① 認定員 → 「**スポーツ少年団の理念**」を学んだ公認スポーツリーダー（2020～2023年度）

- ・ 2019年度までにスポーツリーダー＋認定員を取得した者。
- ・ スポーツ少年団有資格指導者として登録可能（2020～2023年度）
- ・ JSP0公認スポーツ指導者資格
- ・ 「新スポーツリーダー（仮称）：4年に1度更新」に移行（移行期間：2020～2023年度）
しないと資格が消滅

※2019年度にスポーツ少年団に登録していないと「スポーツ少年団の理念」を学んだことにならない。

《2020年度以降》

② **スタートコーチ（スポーツ少年団）**

- ・ スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会を受講（各都道府県内で実施）
- ・ スポーツ少年団有資格指導者（18歳から取得可能）
- ・ JSP0公認スポーツ指導者資格（4年に1度更新）
- ・ 2020年度から養成開始

※スポーツリーダーより下位の公認スポーツ指導者資格。

◎2020年以降は認定員・認定育成員が無くなり，資格養成も行わない。

～2019年度	2020年度～2023年度 (移行期間)	2024年度～
認定員 + JSPO公認スポーツ指導者資格 (スポーツリーダーを除く)	 スポーツ少年団の理念を学んだ JSPO公認スポーツ指導者 ※認定員をとって2019年度にスポーツ少年団に登録しているかが重要。	 スポーツ少年団の理念を学んだ JSPO公認スポーツ指導者
認定員 + JSPO公認スポーツリーダー ※更新無し	 スポーツ少年団の理念を学んだ JSPO公認スポーツリーダー	 スポーツ少年団の理念を学んだ JSPO公認新スポーツリーダー(仮称) ※4年に1回更新 登録料10,000円 <移行手続き>

(2) 指導者養成講習会

【～2019年度】 スポーツ少年団認定員（スポーツリーダー）養成講習会

- ・ 集合学習：14時間
- ・ 自宅学習：21時間
- ・ 受講対象：20歳以上
- ・ 取得資格：認定員（スポーツ少年団指導者資格）
スポーツリーダー（JSP0公認スポーツ指導者資格）
- ・ 講師：認定育成員またはJSP0が認める教育実績のある者
- ・ 講義形態：知識伝達型（講義形式）

科目(内容)	時間数(H)		
	集合	自宅	計
1. スポーツ少年団の理念とその意義 ①スポーツ少年団の理念 ②スポーツ少年団の意義 ③これからのスポーツ少年団	1.0		1.0
2. スポーツ少年団の組織と運営 ①スポーツ少年団組織 ②スポーツ少年団の運営 ③スポーツ少年団活動の分野と内容	1.0		1.0
3. 運動適性テスト ①運動適性テスト	1.5		1.5
4. 文化としてのスポーツ ①スポーツの概念と歴史 ②文化としてのスポーツ	1.0	2.25	3.25
5. 指導者の役割Ⅰ ①スポーツ指導者とは ②スポーツ指導者の倫理 ③指導者の心構え・視点 ④世界の舞台をめざすアスリートの発掘・育成の重要性和指導者の役割	2.0	3.0	5.0
6. トレーニング論Ⅰ ①体力とは ②トレーニングの進め方 ③トレーニングの種類	1.0	2.25	3.25
7. スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ ①スポーツと健康 ②スポーツ活動中に多いケガや病気 ③救急処置 ④熱中症対策について (スポーツ活動サポート情報提供プログラム)	2.0	4.5	6.5
8. スポーツと栄養 ①スポーツと栄養	1.0	1.5	2.5
9. 指導計画と安全管理 ①指導計画の立て方 ②スポーツ活動と安全管理	1.0	2.25	3.25
10. ジュニア期のスポーツ ①発育発達期の身体的特徴、心理的特徴 ②発育発達期に多いケガや病気 ③発育発達期のプログラム	2.0	3.0	5.0
11. 地域におけるスポーツ振興 ①地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり ②総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義 ③地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」	0.5	2.25	2.75
合計	14.0	21.0	35.0
検定試験	1.0		

【2020年度～】 スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会

- ・ 集合学習：7時間以上
- ・ 自宅学習：8時間以上
- ・ 受講対象：18歳以上
- ・ 取得資格：スタートコーチ
(JSP0公認スポーツ指導者資格)
- ・ 講師：スタートコーチインストラクター
JSP0が認める教育実績がある者
- ・ 講義形態：知識伝達型
+ アクティブ・ラーニング

1. スポーツ少年団の理念と意義
(1) スポーツ少年団の理念・意義
(2) 日本スポーツ少年団指導者綱領
2. ジュニア期のスポーツ指導
(1) 発育・発達に合わせた指導
(2) 幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム
(3) 運動適性テスト
3. 安全・安心なスポーツ環境の整備
(1) リスク管理
(2) 反倫理的行為の根絶

9:00	9:20	10:50	11:20	12:20	13:20
ガイダンス 【20分】	スポーツの意義と価値 スポーツ少年団の理念と意義 【90分】	安全なスポーツ環境の整備 【60分】	昼食・休憩 【60分】		
	<共通> ・スポーツの意義と価値 <専門> ・スポーツ少年団の理念と意義 ・スポーツ少年団指導者綱領	<共通> ・安全なスポーツ環境の構築 ・スポーツに関連する医学的知識 <専門> ・リスク管理 ・反倫理的行為の根絶			
13:20	14:50	15:50	17:20	17:50	
指導のプロセス ジュニア期のスポーツ指導 【90分】	指導者の責任と役割 【60分】	グループワーク 【90分】	検定試験 【30分】		
<共通> ・リーダーシップ ・信頼関係構築におけるコミュニケーションの重要性 <専門> ・発育・発達に合わせた指導 ・幼児期からのACP ・運動適性テスト	<共通> ・コーチングおよびコーチとは ・コーチの学びとセルフマネジメント				

アクティブ・ラーニング（グループワーク等）

公認スポーツ指導者資格制度の変更に伴い各公認スポーツ指導者資格取得講習会においても実施される。

受講者にアウトプットする機会作る。

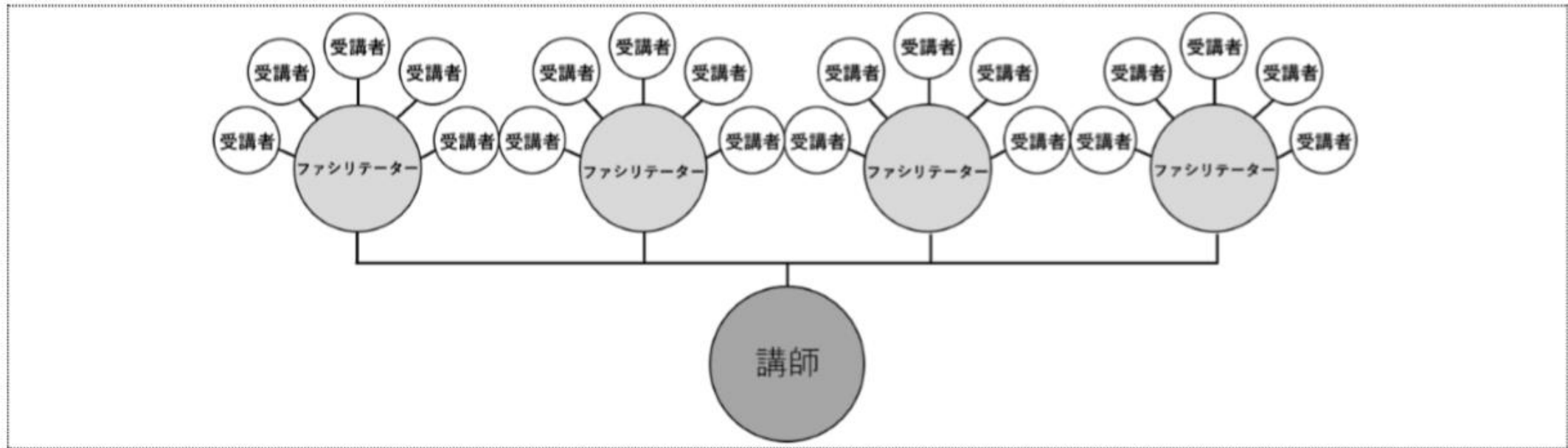
- ・ 目 的：身につけた知識を定着させること。
- ・ 進行方法：ファシリテーターを配置し進行可能（受講者5～10名程度に 1 名配置可能）

【ファシリテーター】

- ・ 役 割：グループワークにおいて、円滑にディスカッションを進め、ディスカッションの目的を達成するために、グループワークを支援する。
- ・ 選定基準：日本スポーツ少年団としては選定基準を設けない。
都道府県スポーツ少年団において、今後のスタートコーチ養成における講師の養成を見据え選定する。

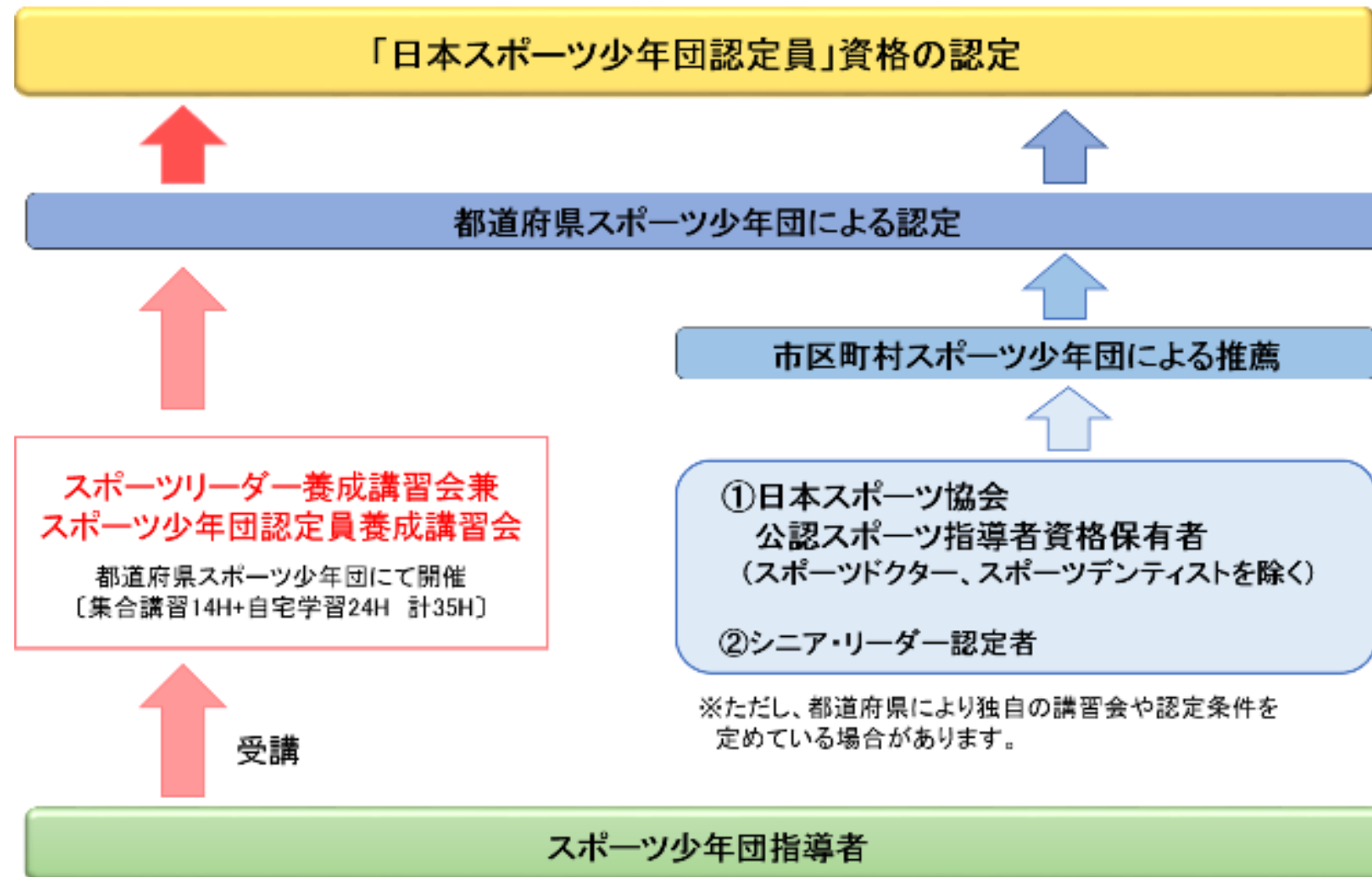
※ファシリテーターを配置せず講習会を実施することも可能。

【スタートコーチ養成講習会における講師・ファシリテーター配置のイメージ】



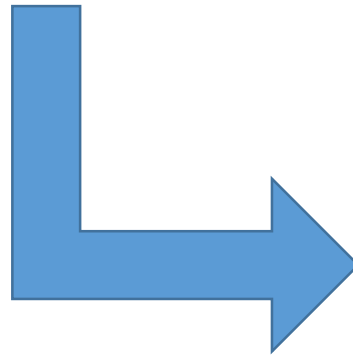
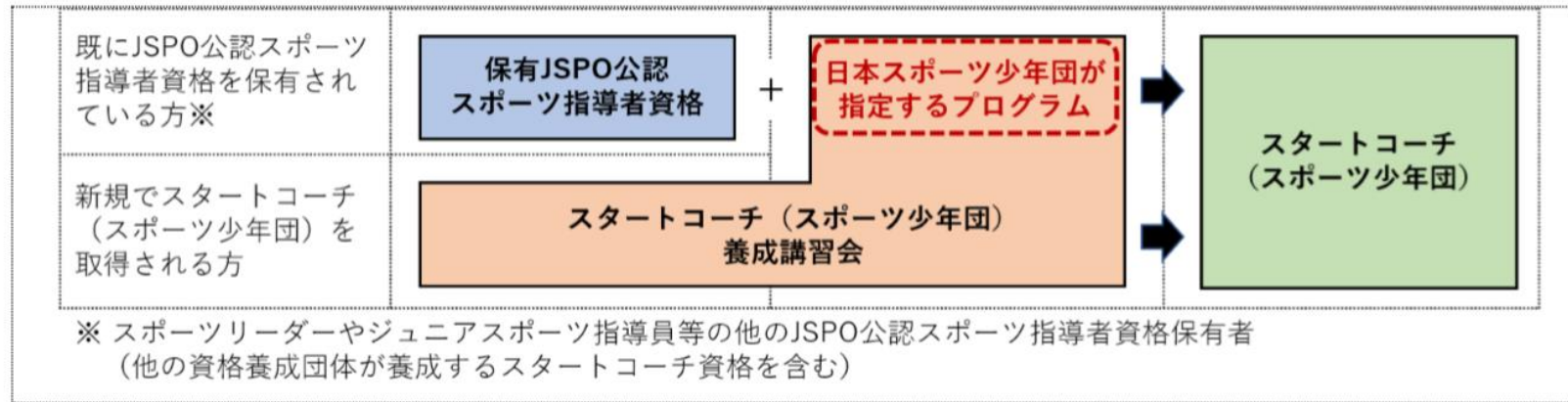
日体協公認スポーツ指導者資格所有者がスポーツ少年団認定員 を取得する場合

～2019年度



JSP0 公認スポーツ指導者資格所有者がスタートコーチ (スポーツ少年団) を取得する場合

2020年度～



- ・ 日本スポーツ少年団が指定する
プログラムのみを受講

9:00	9:20	10:50	11:20	12:20	13:20
ガイダンス 【20分】	スポーツの意義と価値 スポーツ少年団の理念と意義 【90分】	安全なスポーツ環境の整備 【60分】		昼食・休憩 【60分】	
	<共通> ・スポーツの意義と価値 <専門> ・スポーツ少年団の理念と意義 ・スポーツ少年団指導者綱領	<共通> ・安全なスポーツ環境の構築 ・スポーツに関連する医科学的知識 <専門> ・リスク管理 ・反倫理的行為の根絶			
13:20	14:50	15:50	17:20	17:50	
指導のプロセス ジュニア期のスポーツ指導 【90分】	指導者の責任と役割 【60分】	グループワーク 【90分】	検定試験 【30分】		
<共通> ・リーダーシップ ・信頼関係構築におけるコミュニケーションの重要性 <専門> ・発育・発達に合わせた指導 ・幼児期からのACP ・運動適性テスト	<共通> ・コーチングおよびコーチとは ・コーチの学びとセルフマネジメント	受講免除			

【～2019年度】

認定員（スポーツリーダー）養成講習会

【運営】

- ・「スポーツ振興くじ（toto）」の助成をうけて実施。
- ・1会場110,000の委託金と受講料の収入で養成講習会を運営。

【受講料】

- ・2,000円（税別）

【テキスト料】

- ・1,000円（税別）

【2020年度～】

スタートコーチ養成講習会

【運営】

- ・「スポーツ振興くじ（toto）」の助成をうけての実施が不可能。
- ・受講料収入のみ養成講習会を運営。

【受講料】

- ・4,000円（税別）をベースに講習会開催団体が必要経費を踏まえて受講料を設定。

【テキスト料】

- ・検討中

						参加者数							
						30人		50人		70人		90人	
収入	参加料			(@4,400)		132,000		220,000		308,000		396,000	
	収入計					132,000		220,000		308,000		396,000	
支出	諸謝金	講師	(@10,000)	7h	1人	70,000	1人	70,000	1人	70,000	1人	70,000	
		ファシリテーター	(@5,000)	1.5h	3人	22,500	5人	37,500	7人	52,500	9人	52,500	
		採点	(@100)		1人	3,000	1人	5,000	1人	7,000	1人	9,000	
	旅費	講師・ファシリテーター	(@8,000)		4人	32,000	6人	48,000	8人	64,000	10人	80,000	
		運営委員	(@2,000)		1人	2,000	1人	2,000	1人	2,000	1人	2,000	
	借損料	会場借上料				40,000		50,000		70,000		90,000	
		コピー代				3,000		3,000		3,000		3,000	
	通信運搬費	郵券代				3,600		6,000		8,400		10,800	
		宅配便代				2,000		2,000		2,000		2,000	
	消耗品費						7,000		7,000		7,000		7,000
	振込手数料						2,100		2,100		2,700		3,300
	支出計						187,200		232,600		288,600		329,600
収入－支出							-55,200		-12,600		19,400		66,400

〔表8 スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会受講料積算根拠〕

3. スポーツ少年団の登録

(1) 登録区分の整理 【～2019年度】

	主な活動		
	スポーツをする	指導をする	団運営に係わる
指導者資格○ (20歳以上) ※認定員・認定育成員有り	団員	指導者 (20歳以上)	役職員 (代表・育成母集団など)
指導者資格× ※認定員・認定育成員無し	団員 (3歳以上)	指導者 (20歳以上)	役職員
スポーツ少年団登録料	800円	1,200円	1,200円

【2020年度～】

	主な活動		
	スポーツをする	指導をする	団運営に係わる
指導者資格○ (18歳以上) ※公認スポーツ指導者資格有り	団 員	指導者 (18歳以上)	役員／スタッフ (代表・育成母集団など)
指導者資格× ※公認スポーツ指導者資格無し	団 員 (3歳以上)		役員／スタッフ (代表・育成母集団など)
スポーツ少年団登録料	800円	1,200円	1,200円

(2) 単位団スポーツ少年団の登録条件

【～2019年度】

- ・ 団員10名 指導者2名以上（有資格指導者2名以上の登録が義務）
- ※有資格指導者（認定員・認定育成員は20歳以上から取得可能）

【2020年度～】

- ・ 団員10名 指導者2名以上に加え下記の条件を追加。

【単位団がスポーツ少年団登録する際の条件】

- ① 20歳以上の「指導者」、「役員」または「スタッフ」の2名以上の登録が必要

解説：子どもを預かることの責任（単位団の社会的責任）から成人（20歳以上）の複数名配置を必須とする。

- ② 2名以上の指導者が「スポーツ少年団の理念」を学んでいる〔旧スポーツ少年団認定育成員、認定員またはスタートコーチ（スポーツ少年団）資格保有者〕ことが必要

解説：「スポーツ少年団の理念」の普及、「理念」に沿った単位団活動を行うために、「理念」を学んだ指導者の複数名配置を必須とする。

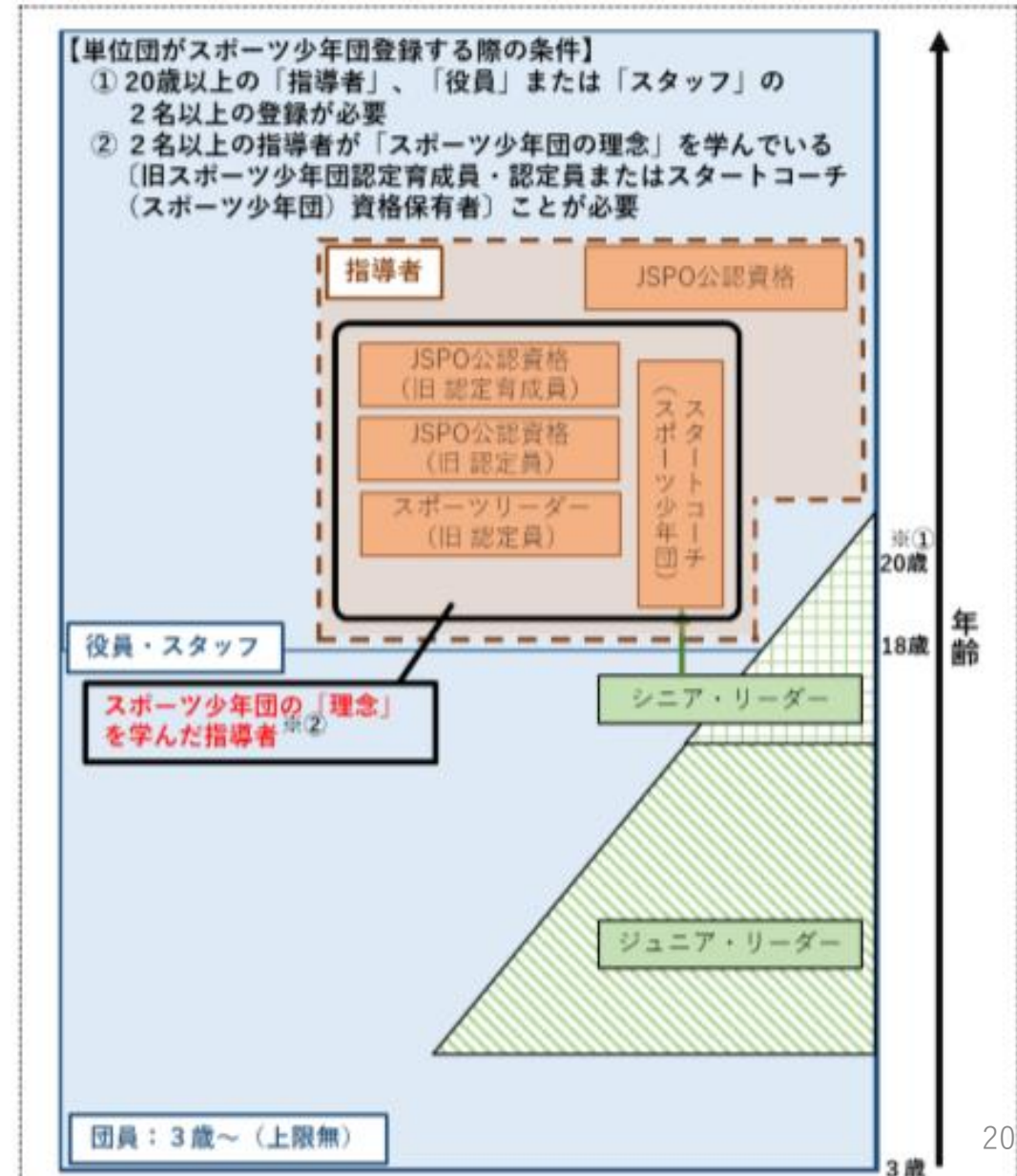
【単位団構成に必要な最低構成人数】

パターン	指導者				役員／スタッフ		団員
	理念○	理念○	理念×	理念×			
	20歳以上	20歳未満	20歳以上	20歳未満	20歳以上	20歳未満	
1	2名						10名
2	1名	1名	1名				10名
3	1名	1名			1名		10名
4		2名	2名				10名
5		2名	1名		1名		10名
6		2名			2名		10名

※理念○

- ・ 2019年度に認定員・認定育成員として登録している指導者
- ・ 「スポーツ少年団の理念」を学んだ公認スポーツ指導者資格指導者
- ・ スタートコーチ（スポーツ少年団）

【単位団登録条件のイメージ】



4. スポーツ少年団指導者に係る費用

・ 資格登録料

【スタートコーチ】

- ・ 登録料 : 10,000円／4年間
- ・ 初期登録手数料 : 3,000円／初回のみ
- ・ 受講料 : 講習会開催団体が受講料を設定
- ・ テキスト料 ; 日本スポーツ少年団で検討中
- ・ 更新研修会参加料 : 1,000円or2,000円／4年間
※現在茨城県で実施されている指導者研修会において資格更新を行う場合
- ・ スポーツ少年団登録料 : 所属市町村により設定／1年間

【新スポーツリーダー】

- ・ 移行手数料 : 0円
- ・ 登録料 : 10,000円／4年間
- ・ 初期登録手数料 : 3,000円／初回のみ
- ・ 資格更新研修会 : 1,000円or2,000円／4年間
※現在茨城県で実施されている指導者研修会において資格更新を行う場合
- ・ スポーツ少年団登録料 : 所属市町村により設定／1年間

今後のスケジュールについて

2019 年	2 月	日本スポーツ少年団ブロック会議にて説明
	3 月	平成 30（2018）年度第 4 回常任委員会／第 2 回委員総会にて今後のスポーツ少年団指導者に係る検討内容について協議
	4 月（中旬）	日本スポーツ少年団指導者協議会運営委員会にて今後のスポーツ少年団指導者に係る検討内容について説明
	4 月（下旬）	スポーツ少年団事務担当者会議にて今後のスポーツ少年団指導者に係る検討内容について説明
	5 月	全国 9 ブロックにて今後のスポーツ少年団指導者に係る説明会を開催
	6 月	2019 年度第 2 回常任委員会／第 1 回委員総会にて今後のスポーツ少年団指導者に係る諸規程の改定等について決定
	6 月～	周知・準備期間
2020 年	4 月	今後のスポーツ少年団指導者に係る諸規程の施行

〔表 1 今後のスポーツ少年団指導者に係るスケジュール（案）〕

【2020年度以降、単位団構成に必要な最低構成人数】

パターン	指導者				役員／スタッフ		団員
	理念○	理念○	理念×	理念×			
	20 歳以上	20 歳未満	20 歳以上	20 歳未満	20 歳以上	20 歳未満	
1	2 名						10 名
2	1 名	1 名	1 名				10 名
3	1 名	1 名			1 名		10 名
4		2 名	2 名				10 名
5		2 名	1 名		1 名		10 名
6		2 名			2 名		10 名

※理念○

- ・ 2019年度に認定員・認定育成員として登録している指導者
- ・ 「スポーツ少年団の理念」を学んだ公認スポーツ指導者資格指導者
- ・ スタートコーチ（スポーツ少年団）

【2020年度～】

	主な活動		
	スポーツをする	指導をする	団運営に係わる
指導者資格○ (18歳以上) ※公認スポーツ指導者資格有り	団 員	指導者 (18歳以上)	役員／スタッフ (代表・育成母集団など)
指導者資格× ※公認スポーツ指導者資格無し	団 員 (3歳以上)		役員／スタッフ (代表・育成母集団など)
スポーツ少年団登録料	800円	1,200円	1,200円

2020年度以降、スポーツ少年団の理念を学んだ有資格者として認定されるには

(1) 現在、認定員を取得済の指導者

2020～2023年度の4年間の内に移行手続きを行う。

(※具体的な手続き方法については現在、日本スポーツ協会が検討中。)

→移行後は、4年に一度の更新あり。移行しない場合は2023年度末に失効。

(2) 現在、認定員を取得していない指導者

① JSPO(旧・日体協)公認指導者資格を持っている方

2019年度中であれば、つくば市スポーツ少年団の推薦で認定員を取得することが可能。

→ その後は(1)と同じ手続きを行う。

② JSPO(旧・日体協)公認指導者資格を持っていない方

① 2019年度中に認定員養成講習会を受講する方 → (1)と同じ手続きを行う。

② 2020年度以降にスタートコーチ養成講習会を受講する方

→ 茨城県内で行われるスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を受講し、その後、4年に一度の更新